発議案第4号

「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書について

地方自治法第99条の規定に基づき、政府関係機関に対し、「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書を別紙のとおり提出するものとする。

令和7年10月1日提出

提出者 北上市議会教育民生常任委員会
委員長 星 敦子

提案理由

「カリキュラム・オーバーロード」の早期改善に向け、学習指導要領の内容の精選及び標準授業時数の削減を行うことを求めるため、国及び政府関係機関に対し意見書を提出しようとするものである。

「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書

学習指導要領改訂は、国の中央教育審議会「教育課程企画特別部会」において議論が行われ、令和7年度秋までに大枠の方向性を示し、令和8年度中に答申・改訂を行うとしています。

令和6年12月の文部科学省の調査において、小学校・中学校・高等学校あわせて41万人を超える不登校の子ども数が報告され、特別支援学級や特別支援学校に在籍する子ども数も過去最多を記録している状況であります。一因として、学習指導要領が改訂の度に内容が難しくなること、教科書のページ数も増加傾向であり子どもたちの負担となっていることが考えられます。

学習指導要領の改訂は、子どもたちのゆたかな学びの保障や、教職員の働き方改革に大きく関わるため、「カリキュラム・オーバーロード」（国の教育課程基準に基づき学校が定めた教育課程の時数と内容が過多になり、子どもや教職員に過大な負担がかかっている状態）等を改善するため、次期学習指導要領の内容の精選や、標準授業時数の削減が必要不可欠です。

よって、国及び政府関係機関に対し、次の事項を実現するよう強く求めます。

記

- 1 「カリキュラム・オーバーロード」の早期改善に向け、学習指導要領の内容の精選及び標準授業時数の削減を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出します。

令和7年10月1日

岩手県北上市議会

（提出先）

内閣総理大臣

衆議院議長

参議院議長

文部科学大臣

財務大臣

総務大臣